第 4 講　2025年度 試作問題 第4問

第 4 問　人や物，情報の移動からみた産業に関する次の問い（**問 1 ～ 5**）に答えよ。（配点　17）

問 1　現代では，貯蔵性の低い生鮮食品も世界的に流通している。次の**図 1** 中の**ア**～**ウ**は，カナダ，サウジアラビア，ロシアのいずれかにおける 2015～2019 年の生食用ブドウの累計輸入量上位 10 か国を示したものである。国名と**ア**～**ウ**との正しい組合せを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［14］

ア

イ

ウ

FAOSTAT により作成。

図 1　各国における生食用ブドウの主な輸入先

	①	②	③	④	⑤	⑥
カナダ	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
サウジアラビア	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
ロシア	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問２　世界の貿易には，地理的条件や歴史的な結びつきが反映されている。次の**表１**中の**カ**～**ク**は，北アメリカ*，西ヨーロッパ**，東アジア***のいずれかである。地域名と**カ**～**ク**との正しい組合せを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 15

*　アメリカ合衆国，カナダ。

** アイルランド，イギリス，イタリア，オランダ，スイス，スペイン，ドイツ，フランス，ベルギー，ポルトガル，ルクセンブルク。

***日本，韓国，中国（台湾，香港，マカオを含まない），モンゴル。

表１　地域間の貿易額

（単位：10 億ドル）

輸出＼輸入	**カ**	**キ**	**ク**
カ	2,270	508	377
キ	316	542	272
ク	469	700	606

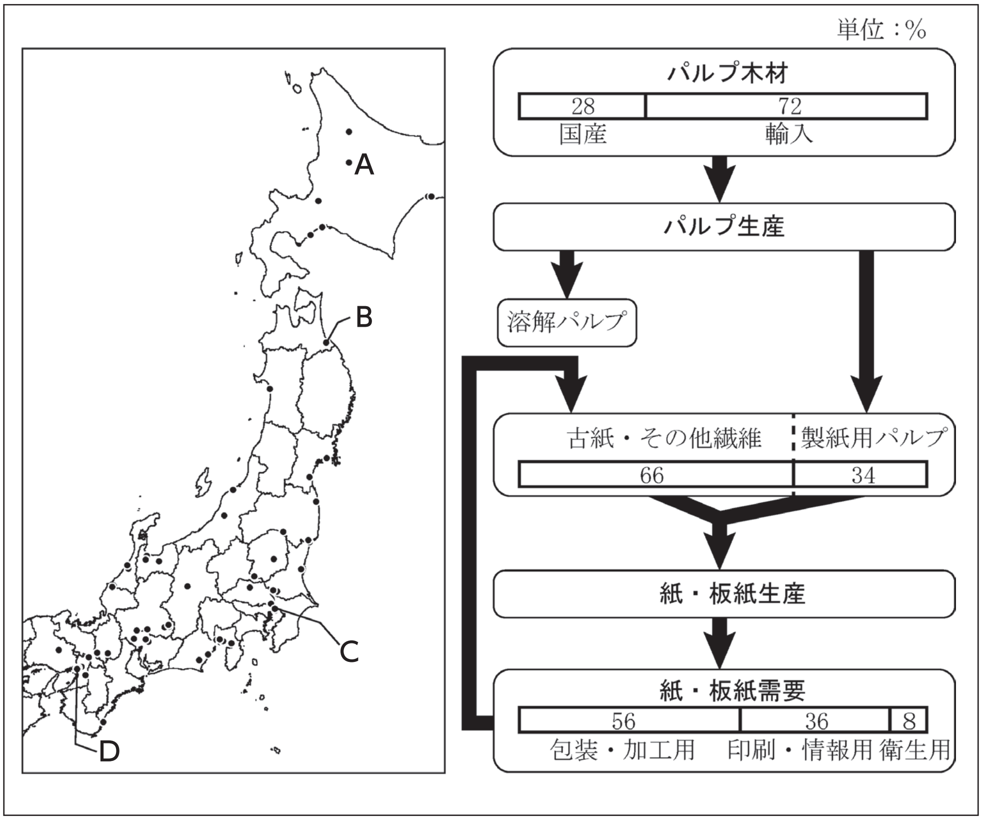
統計年次は 2020 年。IMF の資料により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
北アメリカ	カ	カ	キ	キ	ク	ク
西ヨーロッパ	キ	ク	カ	ク	カ	キ
東アジア	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問３　工場の分布には，様々な立地条件が反映されている。次の**資料１**は，製紙・パルプ工場の分布と紙・板紙*の生産の流れを示したものである。**資料１**をもとに，日本の製紙・パルプ工場の特徴について述べた文として**適当でないもの**を，後の①～④のうちから一つ選べ。 16

*板紙は，段ボールや包装に使われる厚い紙。

資料１　製紙・パルプ工場の分布と紙・板紙の生産の流れ



統計年次は2021年。日本製紙連合会の資料により作成。

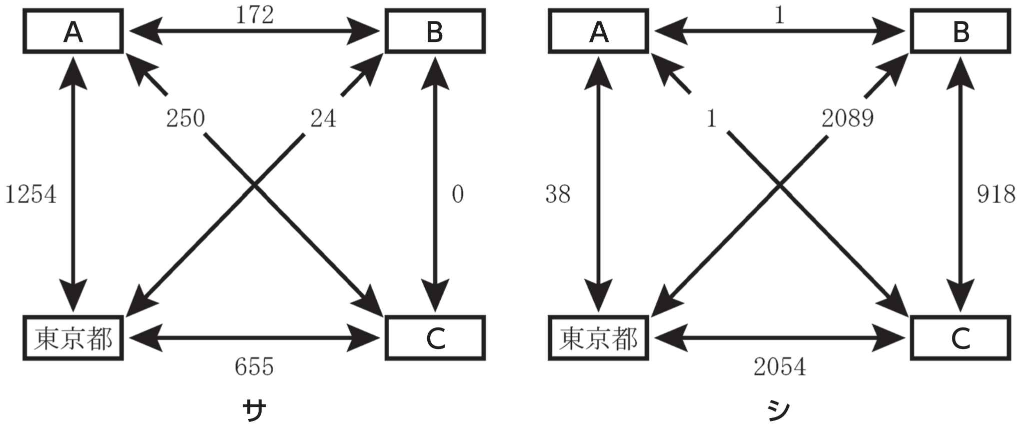
① 工場Aでは，国産木材を調達しやすい立地条件をいかした生産をしている。

② 工場Bでは，原料を輸入しやすい立地条件をいかした生産をしている。

③ 工場Cでは，安価な労働力を得やすい立地条件をいかした生産をしている。

④ 工場Dでは，大量の古紙を調達しやすい立地条件をいかした生産をしている。

問４ 都市は，様々な交通手段によって結びついている。次の**図２**中の**サ**と**シ**は航空と鉄道のいずれか，**A**～**C**は愛知県，大阪府，北海道のいずれかである。航空と愛知県との正しい組合せを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 17

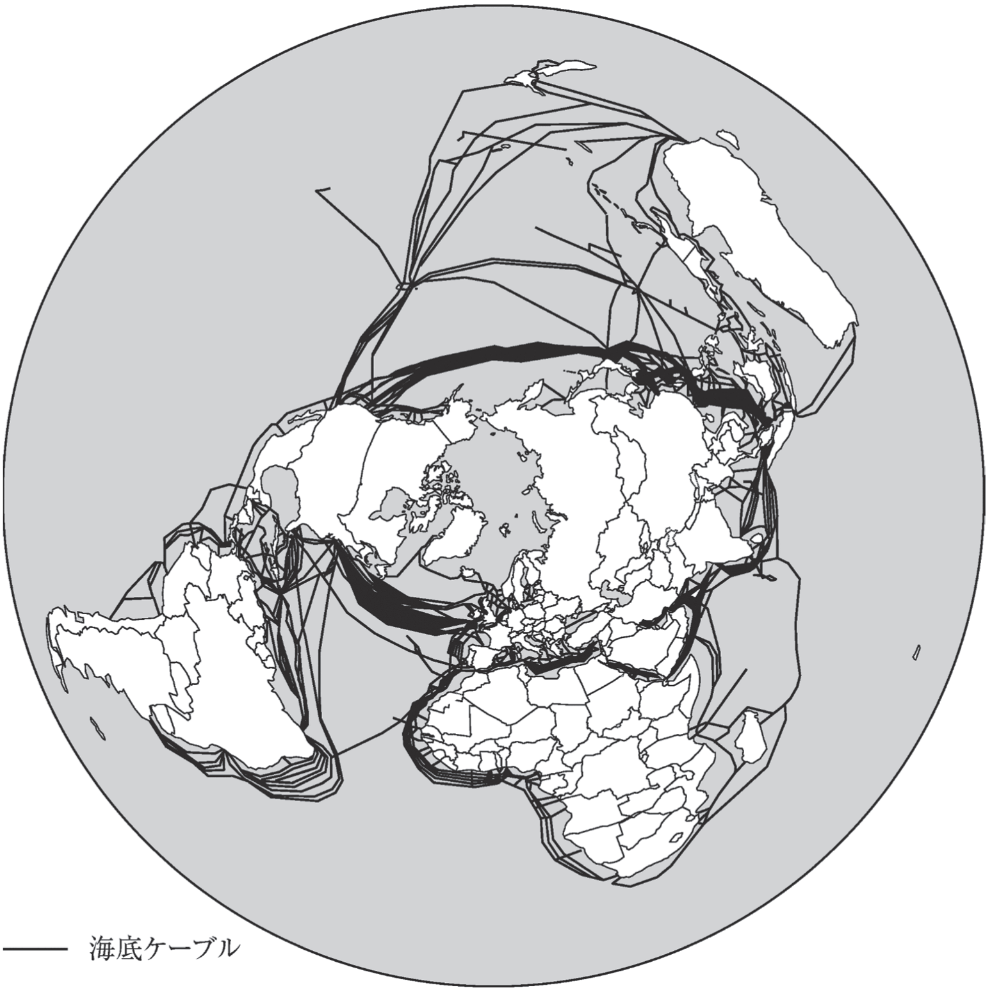


単位は万人，単位未満は切り上げ。統計年次は 2019 年度。国土交通省の資料により作成。

図２　４都道府県間の公共交通機関別旅客数

	①	②	③	④	⑤	⑥
航　空	サ	サ	サ	シ	シ	シ
愛知県	A	B	C	A	B	C

問５　国際データ通信の多くは，次の**図３**に示した海底ケーブルを通じて行われている。後の**表２**は，国際データ通信量について示したものであり，通信先の割合には，各国・地域と諸外国との通信だけではなく，その国・地域を経由した通信も含まれている。**図３**と**表２**をもとに，国際データ通信について述べた文章中の下線部①～④のうちから，**適当でないもの**を一つ選べ。 18



TeleGeography の資料により作成。

図３　主な海底ケーブル

表２　国際データ通信量の上位８か国・地域における世界シェアと通信先の割合

（単位：％）

国・地域	世　界 シェア	通信先の割合				
		北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	ラテン アメリカ	その他
香　港	14.3	9.5	3.3	82.9	0.0	4.3
アメリカ 合衆国	11.9	8.8	24.5	23.7	38.8	4.2
イギリス	10.3	20.3	65.7	3.6	0.2	10.2
台　湾	5.1	36.6	0.1	63.2	0.0	0.1
中　国	4.2	63.5	10.7	25.6	0.0	0.2
日　本	3.6	43.1	2.2	52.7	0.0	2.0
ブラジル	3.1	76.4	1.7	0.0	21.8	0.1
ドイツ	3.0	2.3	89.0	1.0	0.1	7.6

中国の数値には台湾，香港，マカオを含まない。統計年次は世界シェアが 2016 年，通信先の割合が 2017 年。『ジェトロ世界貿易投資報告』により作成。

世界で初めて敷設された海底ケーブルは，大西洋を横断するものであった。その後，大西洋には複数の海底ケーブルが開通し，①ヨーロッパ側の起点の多くがイギリスとなっている。アメリカ合衆国は，多くの国際データ通信の経由国となっており，海底ケーブルが集中している。特に，②ラテンアメリカは，北アメリカを経由地として，他の国・地域と国際データ通信を行っている。

太平洋にも複数の海底ケーブルが敷設されており，アメリカ合衆国とアジアとの間の国際データ通信においては，③ほとんどのデータ通信が中国を経由している。世界シェアが１位の香港は，アジア域内と複数の海底ケーブルで結ばれ，④日本や韓国，ASEAN 諸国との国際データ通信が多い。

第 4 講　2025年度 試作問題 第 4 問　解答

(全大問合計で 100 点満点)

問題番号(配点)	設　問	解答番号	正　解	配　点
第 4 問 (17)	1	14	6	3
	2	15	3	4
	3	16	3	3
	4	17	2	3
	5	18	3	4